

平成29年度 RIST シンポジウム開催報告

- 1 日時 平成29年10月19日（木）13時30分～20時
- 2 場所 ニューオータニホテルズ ザ・ニューホテル熊本
(シンポジウム：おしどり、交流会：せきれい)
- 3 主催 くまもと技術革新・融合研究会 (RIST)、公益財団法人くまもと産業支援財団
- 4 後援 熊本県、熊本市、熊本県工業連合会、熊本県情報サービス産業協会、
熊本県社会・システムITコンソーシアム (順不同)

5 参加者 シンポジウム 115 名

【内訳】企業・一般：49名、学校：33名、行政：30名、講演者：3名
交流会 33名

【内訳】企業・一般：12名、学校：8名、行政：10名、講演者：3名

6 プログラム

■主催者より開会のご挨拶

末吉 敏則 RIST 会長 熊本大学大学院 自然科学研究科 教授

■来賓ご挨拶

末藤 尚希 様 熊本県 商工観光労働部 新産業振興局 産業支援課長

■演目

第一部

「IoT/データ活用によるイノベーションと製造業のビジネスモデル変革」

一般社団法人情報通信技術委員会事務局長 稲田修一 様

(元総務省大臣官房審議官、元東京大学特任教授)

第二部

「地方創生力で世界で勝つスマートシティ創りを目指す IoT 益田同盟」

アーキテクトランドデザイン株式会社

ファウンダー兼チーフアーキテクト 豊崎禎久 様

第三部

「時系列ビッグデータのリアルタイム解析：新技術と挑戦」

熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 櫻井保志 様

第四部

講師の方々との意見交換・ディスカッション

司会：

永田 正伸 RIST 企画委員長 熊本高等専門学校 制御情報システム工学科 教授

■交 流 会

18 時～20 時

7 特記事項

本シンポジウムは、第4次産業革命の世界的な潮流のなかで、IoT (Internet of Things) やビッグデータの話題が盛んになる一方、どのように活用すればよいか、どんな効果が得られるのかなど声に対し、熊本県の中小の製造業をはじめとする産業界がこの新しい流れについてどのように取り組めばよいのか考えるヒントを提供することを目的として開催した。

過去の成功事例や熊本で取り組むテーマの可能性、ビッグデータ解析を活用した企業との共同研究等、三者三様のご講演内容に、ディスカッションを通して今後取り組むべき課題のヒントを見出すきっかけとなった。

閉会の辞では、RIST 副会長 熊本県産業技術センター 今村所長からは、農業・医療環境・観光資源・水資源・被災地等、熊本らしさを発揮すること、特徴を生かす戦略が大切である。また、世の中の動きに注視しつつ、埋没しないような進め方を模索すること、激動の中で、地方の企業が生き残っていくために IoT を活用する。人材育成の中で経営者が若手とコミュニケーションを取り、リーダーシップを発揮していただきたい。今回のシンポジウムが IoT への理解を深め、より活発な議論に発展していくきっかけとなることを願うと締めくくった。



以 上